

足利市民文化 財団 報

第43号
令和7年9月1日

発行

公益財団法人 足利市民文化財団
栃木県足利市本城3丁目2145
(足利市教育委員会事務局文化課内)
電話 0284-20-2229

山姥切国広展

— 名匠の軌跡、名刀の誕生 —
の開催

国指定重要文化財「山姥切国広」取得を記念し、足利市・足利市教育委員会と共催で、足利市立美術館で特別展示会とその関連事業を実施しました。特別展示には、全国各地また海外から44,030人の来場者がありました。

特別展示会には、所蔵の「山姥切国広」「布袋国広」「国広」に加え、徳川美術館所蔵の「本作長義」の他、国広ゆかりの刀剣を全19振と関連する資料等の展示をしました。

関連事業では、国広に関する講演会や、日本刀の鑑賞法の講演会や、国広一門の刀剣を実際に手に触れてみる鑑賞会を実施しました。また、小学生を対象としたワークショップを開催し、刀の研ぎ・鞘削り・銘入れなどを体験しました。

特別展最終日には、多くの刀剣ファンが集まり、山姥切国広とのしばしのお別れと感謝の拍手とともに幕を閉じました。



山姥切国広展チラシ



山姥切国広・本作長義 展示室



展示室



山姥切国広展 最終日



従是 山城国展示



刀剣講演会



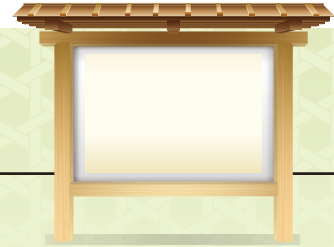
ワークショップ



山姥切国広展 最終日

案内板による 文化財めぐり

文化財団では、市内の文化財の案内板を設置しております。



ミツバツツジ自生地



小俣町

県指定天然記念物で、通常おしべの数が10本あるのに対し、こちらのミツバツツジはおしべが5本しかない大変珍しいものです。開花時期は、3月下旬から4月下旬です。

(県指定天然記念物)

ニホンカワモズク自生地



南大町

市指定天然記念物。弘法大師の石芋伝説も伝わる芋の森神社の泉は湧水が絶えることがなく、そこに生息するカワモズクが新品種であることが判明し、命名されました。

(市指定天然記念物)

逆さ藤天神



家富町

祭神は菅原道真公で学問の神として信仰を集めています。1196年足利又太郎忠継が無実の罪がはれるように祈願の際、天満宮の神前に逆さに刺した藤の枝が芽を吹き大木になったことから「逆さ藤天神」と呼ばれるようになりました。

所蔵品

文化財団では、貴重な文化財等の足利市外への散逸を防ぐため、本市にゆかりのある貴重な美術品、文化財等の保護事業を進めています。3月末現在の文化財団の所蔵品は、下表のとおりです。

所蔵品種別一覧

種 別	員 数	取得金額(円)
古 文 書 等	2,219	7,459,890
刀 剣・甲 冑・銃	12	354,500,000
上記に付随する工芸品等	263	60,515,000
和 鏡	41	5,500,000
能 面	2	2,000,000
織 物 等	220	1,700,000
絵 画 等	81	70,997,000
合 計	2,838	502,671,890



下坂継正

脇指



下坂継正

槍



足利尊氏

御内書



足利尊氏

軍勢催促状



足利市民文化財団とは

足利市の持つ自然的・歴史的環境や関連する芸術品・文化財等の保護、また芸術・文化の振興、さらに文化施設の整備の促進などを目的に、昭和57年1月に発足し、平成25年4月には、新公益法人制度に基づく公益財団法人の認定を受けました。この間、事業を支える基盤づくりとして募金活動を進め、この預金利子を事業資金として活用しております。今後とも、皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

令和6年度

事業報告 及び 決算諸表承認

令和7年6月19日開催の評議員会で、令和6年度の事業報告及び決算が承認されました。

美術品・文化財の収集、展示事業

①「山姥切国広展－名匠の軌跡、名刀の誕生－」の開催(足利市・足利市教育委員会と共催事業)

実施期間 令和7年2月8日(土)～3月23日(日) 開催場所 足利市立美術館 入場者数 44,030人
 展示内容 当財団所有の銘刀「山姥切国広」、脇指「布袋国広」、短刀「国広」、山姥切国広の拵を展示した他、借用した国広等の刀等19振の他、関連する資料を展示



刀剣鑑賞会

【関連事業の実施】

⑦講演会 「山姥切国広から見る国広の世界」

開催日 令和7年3月2日(日) 会場 足利商工会議所 友愛会館 入場者数 133人
 講師 國學院大學大学院兼任講師 井本悠紀氏

①ワークショップ 「日本刀にまつわる職人体験 君も立派な職人」

講師 専門講師複数名 入場者数 70人

⑨講演会・刀鑑賞会 「日本刀の鑑賞法、国広一門の作品群を持ってみよう」

講師 飯田高遠堂 飯田慶雄氏 入場者数 86人

①・⑨は、ともに

開催日 令和7年3月8日(土) 会場 あしかがフラワーパークプラザ 小ホール



所蔵品展チラシ

②足利市民文化財団所蔵品展

実施期間 令和7年1月11日(土)～1月26日(日) 開催場所 足利市立美術館 入場者数 1,358人
 展示内容 牧島如鳩1点、川島理一郎12点、田崎草雲14点の作品を展示



所蔵品展

文化財紹介・啓発事業

- 文化財のパネル貸出 各地区文化祭等 134枚 ●山姥切国広写真パネル作成
- 文化財案内板の修繕 3ヶ所(樺埼八幡宮・鶏足寺・ミツバツツジ自生地)

地域の芸術・文化活動、文化財保護、自然環境保全活動を行う団体等に対する助成事業

次の事業に助成金を交付しました。

- 自然環境保全活動への支援
 - ・ゲンジホタル等養殖・保護・啓発事業 主催団体 名草源氏ホタル保存会
 - ・カタクリ群生地の保護事業 主催団体 名草観光協会カタクリ部会

●足利市民文化祭・優秀作品展

期間 令和6年9月28日～12月1日、令和7年1月11日～1月26日
 主催 足利市民文化祭運営協議会 場所 あしかがフラワーパークプラザ、市立美術館他

●足利の文化財等特別公開事業 特別公開事業実行委員会

●各種団体への助成

市内の芸術・文化団体の自主的活動等を支援するため、32団体に対し文化活動の費用の一部を助成しました。

●文化財保存整備への助成

浄林寺離れ建物・葉鹿上町屋台・葉鹿下町屋台の保存整備事業

美術品・文化財の貸出事業

所蔵品を、鹿児島市立美術館含む5館の巡回展、鎌倉歴史文化交流館、草雲美術館、シンガポール国立美術館の展示会へ貸出をしました。

文化講演会を文化協会と共催で行いました

期 日 令和7年2月22日(土)
 あしかがフラワーパークプラザ 小ホール
 演 題 「日本人がオペラを演じる難しさ」
 講 師 足利オペラリリカ音楽監督 大隅智佳子氏
 参加者 150名



文化講演会チラシ

基本財産及び特定資産の増減及びその残高

文化財団の基本財産及び特定資産の増減及びその残高は次のとおりです。

(単位：円)

科 目	令和5年度末 残高	令和6年度 増減額	令和6年度末 残高
基本財産			
投資有価証券	525,900,000	△1,010,000	524,890,000
定期預金	4,540,000	1,010,000	5,550,000
美術品	502,671,890	0	502,671,890
小 計	1,033,111,890	0	1,033,111,890
特定資産			
投資有価証券	317,756,000	0	317,756,000
定期預金	35,161,816	0	35,161,816
小 計	352,917,816	0	352,917,816
合 計	1,386,029,706	0	1,386,029,706

令和7年度事業予定

本財団の設立趣旨に沿った芸術品・文化財等の保護、芸術・文化活動振興事業などに資産からの運用益金を充てて事業を実施します。

文化財の紹介・啓発事業〔歴史セミナー〕

- ① 名古屋市 徳川美術館「時をかける名刀」展・名古屋城見学(名古屋市コース)
期 日 令和7年6月16日(月)[実施済み]
- ② 戦国武将足利長尾の城跡めぐり ③ 足利氏ゆかりの寺社等めぐり(鎌倉市コース)
期 日 令和7年12月予定 **期 日** 令和8年2月予定
会 場 足利城址(両崖山跡)他 **会 場** 鎌倉市(永福寺跡)他

※②・③の詳細については、「あしかがみ」でお知らせします。

美術品・文化財の収集、貸出事業

足利市にゆかりのある画家等の作品や貴重な文化財などの散逸を防ぐため、芸術品や美術品の収集や所蔵品の展示貸出

美術品・文化財の展示事業 所蔵品展

期 日 令和8年1月10日～25日
会 場 足利市立美術館

文化講演会の開催事業 (足利文化協会との共催)

期 日 令和8年2月14日(土)

文化財の紹介・啓発事業

- ◎文化財案内板設置
- ◎文化財写真パネルの作製

芸術・文化活動団体等の事業に助成します

芸術・文化の振興に寄与すると認められる団体に対し、その事業に必要な費用の一部を審査のうえ助成します。

対象団体

- 次の要件にすべて該当する団体
- ◎足利市内に住所又は活動の本拠を有する団体
 - ◎一定の活動実績があり、広く市民に事業を公開する団体
 - ◎団体規約等を有し、代表者が明らかな団体

対象事業

- ◎文化活動の成果発表事業(展覧会、発表会)
- ◎文化活動研修事業(講演会、講座など)
- ◎自然・文化財保護活動事業

※営利、政治及び宗教活動を目的とする事業や参加者を会員等に限定する事業は対象となりません。

所定の助成金申請書を9月30日(火)までに足利市民文化財団事務局(教育委員会事務局文化課内)に提出してください。
 (申請書は、ホームページからダウンロードできます。)

問 合 せ 先 足利市民文化財団事務局 ☎20-2229

芸術・文化に関する情報提供

- ・文化財団報の発行
- ・インターネット等の活用

足利市民文化財団HP▶



寄付のお願い

事務局 ☎20-2229

足利市民文化財団の趣旨となる諸事業を実施していくため「足利市文化振興事業寄付金」にご協力をお願いいたします。あしかがフラワーパークプラザ・市立美術館などの施設に設置の募金箱でも寄付が可能です。毎年、皆様から寄付をいただいておりますことに感謝申し上げます。

令和6年度のご寄付 ありがとうございます。
 ・30,000円 足利文化協会 ・23,894円 施設設置募金箱
 ・201,321円「山姥切国広展」開催期間設置募金箱



足利にゆかりのある国広作の国指定重要文化財の名刀「山姥切国広」の展示は、2017年(37,820人)、2022年(25,587人)に次ぐ2025年(44,030人)は3回目の開催となりました。今回は徳川美術館所蔵の国指定重要文化財「本作長義」と同時展示(2口が揃うのは435年ぶり)であり、刀剣ブームそして人気オンラインゲーム「刀剣乱舞」とのコラボをした大盛況のイベントであり、全国各地、海外からの女性が9割を占め、名刀で盛り上がる足利市でした。展示以外にも関連事業とした、刀剣鑑賞の講演会や、刀剣を実際に手に触れる鑑賞会も好評でした。来場された人達は、「山姥切国広・本作長義」の刀の

輝きと華やかさがあり、魅力ある2口だけの展示室にいられることに興奮と喜びを感じていますと、涙を浮かべながら鑑賞する人があふれていました。また、国広の鍛刀した地域別の刀の展示や、関係する資料の展示に満足した素晴らしい展示会でしたという感想が多く聞かれました。また、まちをあげての国広コラボ事業など、足利市の魅力を感じたとも感想がありました。「山姥切国広」は足利の宝として守っていきたいと考え、また、歴史と文化のまちとしての文化資源としての公開事業を展開していきたいと考えております。これからも、財団の趣旨に則り、歴史ある文化事業・活動等を応援してまいります。